

## 初ざくら

松岡隆子

直立といふ眩しさの芽吹の樹  
ジグザグに上る急磴鳥雲に  
富士見ゆといふ真正面霞立つ  
その奥のその奥の梅まくれなる  
三楹の思案の蓄なかなかに  
くれなるの極みをなほも落椿  
蜷の道紆余曲折といふほども

白花たんぽぽ人声のひらと過ぐ  
日の芝を踏みゆくほどに春うれひ  
師の声を仰ぐ初ざくらを仰ぐ  
一つ事了へて春夜の顔洗ふ  
夕桜ゆゑなくこころ満ちきたる

蘇芳集同人の渡邊朔郎さんが三月六日に逝去された。享年九十八歳。へよく  
暗れて師走の今日の暮れにけり 朔郎。平成三十年三月以降は作品は発表さ  
れておられないが、西東京葉の会には暫く参加されていた。長年「朝」同人会  
幹事長として活躍され、また「葉」創刊の際にも力になってくださった方であ  
る。在りし日のお姿を偲び心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みて多くの皆さんに支えられての「葉」創刊であった。五年前の四月一日  
創刊号を手にした時の感激を胸に今回の記念祝賀大会に臨みたい。